

やっぱり、写真や映像よりも  
実物の方が勉強になるなとい  
うことを学習した。

次は美ら海水族館。世界一  
大きい水そうの中に、とても  
有名なジンベエザメがいると  
聞いてとても楽しみにしてい  
た。

中に入ると、さっそく班行  
動中心で「セウロコナマコ」やア  
オヒトデをさわってみた。生  
き物だと思わないとただの布  
や棒のような感じよくに思え  
るのだけど、生き物だと思っ  
と、何とも言えぬ心の底から  
わいてくる気持ち悪さは今で  
もとても忘れられそうにはな  
い。

次はサンゴを見に行った。  
解説もありとてもわかりやす  
かった。さらにパンフレット



△本部町各小学校6年生との交流

もあり、さらに見栄えがあつ  
た。

次にいろいろな魚を見にさ  
らに深海にいる魚のすいそう  
の所まできました。そこには  
熱帯魚がたくさんいました。  
熱帯魚は、とてもきれいでし  
た。北海道の魚は、主に食用  
とされますが、魚にはこうい  
う一面あるということに気づ  
いた。

とうとう世界一の大水そう  
を目の前に、写真を撮ること  
ができる場所まで来た。

「でっかー！」「す  
げー！」

興奮してあつというまに  
大水そうの前にきてしまった。  
ジンベエザメも見ることがで  
きた。とても大きい！この  
ジンベエザメが本当にプラン  
クトンを食べているのか？本  
当に感動した。人生に一度し  
かないかもしれないこの体験  
は一生の思い出になるだろう。  
最後に平和の礎にいった。

たくさんの名前が戦争をやつ  
てはいけないということをも  
語っている。資料館でもその  
ことが確信できた。

また、戦争はどのようにし  
て行われたのか。なぜ沖縄が  
ねらわれたのかということも  
くわしく知ることができた。  
一生に一度かも知れないこ

の数々の体験は一生の思いで  
に残ると思います。この体験  
で、沖縄をくわしく知り、本  
部の人と交流ができました。

「たくさん学んだ体験の旅」

金山小学校  
大野 聖

私が、体験の旅で思い出に  
残っていることは、ホームス  
テイとひめゆり記念資料館で  
す。

ホームステイは、冬に私の  
家に来た下地まいちゃんの家  
に泊まりました。家に着いた  
後、まいちゃんとあいらちや  
んという友達と私でおかし御  
殿という所へ行きました。い  
ろいろなおかしを試したり、  
お土産を買ったりしました。  
楽しかったです。

家に帰って、夜ごはんを食  
べました。お祝いの時しか食  
べられないというおみそしる  
を飲みました。食べたこと  
ない味だったけれど、とても  
おいしかったです。他にも、  
沖縄でよく食べる料理などを  
食べました。全部おいしくつ  
たです。

その後、花火をしたり、テ  
レビを見たりしました。びっ  
くりしたのは、「キブリがい  
た」ことです。見たことがな  
かったので、うれしかったです

すが、初の沖縄で誕生日はな  
かなか無いことだし、一生の  
思い出に残ったと思うのでと  
てもうれしかったです。

三つ目は、ホームステイで  
す。泊めてもらう家庭は、残  
念ながら多くの家に泊まった  
人ではなかったのですが、と  
ても楽しかったです。

まず、引渡しが終わったら  
海へ繋がる港に行つてポート  
に乗り海に連れて行つてくだ  
さいました。そこで、魚を見  
ました。しかもちようど夕日  
がしむくらいだったのでと  
てもきれいな景色を写真に収  
めることができました。その  
後浜辺に行つて、ウミガメの  
卵を見ました。「一般の人は  
見ることができない」と言っ  
ていたので、貴重な体験がで  
きて良かったです。ウミガメ  
の卵は形も、大きさも、色も  
「ピンポン玉」のようでした。  
その後家に帰つてきて夜ごはん  
を食べました。一番おいし  
かったのが県魚の「へんぐん」  
です。あっさり塩味とても  
おいしかったのを覚えていま  
す。

今回の南の国の真夏に挑む  
体験の旅では五分前行動や集  
団行動が身に付いたと思うの  
で学校生活や大人になっても  
活用したいです。



△美ら海水族館（ナンヨウマンタと一緒に）

す。

ひめゆり記念資料館では、  
沖縄戦の時のひめゆり女学校  
の生徒について学びました。  
14歳から19歳ぐらいの女の  
子たちが、沖縄戦でけがをし  
た人の手当をしていたと知っ  
て、私と2歳ぐらいしか年の  
差がない人でも、当時は戦争  
に参加させられていたんだな  
と思いました。

生き残った人の証言では、  
解散命令後、たくさんの死体  
の中を歩いた人、「お父さん、  
お母さん助けて。」とお祈りを  
した人がいたということを知  
りました。私は、三百二十人  
ぐらいいたひめゆり部隊も、  
沖縄戦後は十数人ぐらいしか  
残っていなかったことを知り、  
戦争で多くの人が亡くなって

いたんだなと思いました。

私が一番印象に残っている  
のは、解散命令後、友達に自  
分を殺してと言った人のこと  
です。その人は、「自分で死  
めことはできないから、あな  
たが殺して。」と言ったそう  
です。私は、このことを聞いて、  
ひめゆり部隊は、解散命令後、  
どのような気持ちで逃げたの  
だろうかと疑問に思いました。  
きつと、「もう死ぬんだ。」と  
あきらめた人もいたり、た  
くさんの死体の中を走り続けた  
人もいたり、みんなそれぞれ  
の思いをもって逃げていた  
と私は思います。でも、あき  
らめた人も、死体の中を走り  
続けた人も、みんな「戦争が  
早く終わってほしい。」と思っ  
たのではないのでしょうか。

この沖縄戦では、数え切れ  
ないほどの人が亡くなってい  
きました。もう、このような  
ことは絶対あってははいけ  
ないと思います。

私は、沖縄で学んだことを  
忘れずに、会う人会う人と仲  
良くするなど、自分でできる  
ことをして、少しでも戦争を  
無くしていけたらいいと思  
います。私ができるのは少し  
のことだけれど、それが広  
まっていったらいいと思  
います。



△県営平和祈念公園にて平和を学ぶ

「初の北海道外！」

しかも沖縄  
下金山小学校  
渋谷 侑磨

ほか、沖縄で楽しかった  
ことは三つあります。

その前にほか、沖縄で最初  
に、感じたことを言います。  
沖縄は北海道と比べると少し  
温度が高いくらいでほとんど  
変わりませんが、非常に湿度  
が高く、まるで加湿器の上  
にいるかのようでした。

楽しかったことの二つ目は、  
二日目のバナナポート体験で  
す。初の海でさらにバナナ  
ポートに乗ることができてう  
れしかったです。  
波が大きい所では、大ジャ  
ンプができて少し落ちそうに



△美ら海水族館（ジンベエザメと一緒に）

なつたのですが、タイナミツ  
クでも楽しかったです。  
初の海の感想はサンゴ岩など  
で、足が痛かったけど、水平  
線が見えてきれいだなと思  
いました。

二つ目は、バナナポート体  
験の後の夜ごはん「パーベ  
キュー」です。夜食の場所は  
海の見えるきれいな所でした。  
そこで、食べる肉はとても  
まあさんでした。ちなみに  
まあさんとは、沖縄の方言で、  
「おいしい」という意味です。  
夜ごはんを食べ終えると他の皆  
が誕生日パーティーをしてく  
れました。ケーキとロウソク  
がなかったのでスイカにつま  
ようじを刺して、パーティー  
をしました。スイカはアレル  
ギーで食べられなかったの



△本部町の小学6年生と交流を深めました